

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2014年度 第4回 理事会

日 時：2014年 4月 23日（水）19：00～22：30

場 所：コンセーレ バンケットホール

出席者：

- （ 理 事 長 ）：村上(敬称省略 以下同)  
（ 直 前 理 事 長 ）：  
（ 顧 問 ）：  
（ 副 理 事 長 ）：朝田、木村(英)、小瀧、須山  
（ 専 務 理 事 ）：中島(崇)  
（ 監 事 ）：黒川、澤畑  
（ 担 当 常 任 理 事 ）：林  
（ 全 国 大 会 招 致 会 議 議 長 ）：羽石  
（ 会 員 拡 大 会 議 議 長 ）：太城  
（ 協 働 連 携 特 別 会 議 議 長 ）：篠崎(達)  
（ 法 令 会 計 審 査 会 議 議 長 ）：廣田  
（ 事 務 局 長 ）：橋本  
（ 委 員 長 ）：飯沼、新妻、豊崎、中島(晴)、相馬、鈴木、木村(武)  
（ 副 議 長 ）：宮林、渡邊、安野、篠原(代理)、高松、山田、福田(弘)  
（ 理 事 ）：船見、青木、横島、相田(代理)、岡田

1. 開会宣言 <中島(崇)> (役職名省略 以下同)
2. JCI クリード唱和 <岡田>
3. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 <福田(弘)>
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 <豊崎>
5. 関東地区宣言唱和 <船見>
6. 出席者の確認 <橋本>  
出席理事名 29 / 33名
7. 議事録作成人並びに議事録署名人の指名  
議事録：<総務委員会>  
議事録署名人：村 上 正 高  
黒 川 崇  
澤畑 敦史
8. 前回議事録の確認 <中島(崇)>
9. 議題並びに資料の確認 <橋本>
10. 理事長挨拶 <村上>

まずは定刻どおりに理事会にお集りいただきありがとうございます。また、早い時間から

ご設営いただきました総務委員会の皆様ありがとうございました。前回の理事会から一ヶ月がたちましたが、それから多くのことがありました。時系列にお話しさせていただきますと、拡大の公開委員会が2回ありました。徳原先輩、鱒淵先輩に非常によいお話をいただきながら、懇親会も盛り上がり過ぎて過ごさせていただきました。それから今日の議案をみていただければわかるとおり、新入会員認証があがっていないのです。これは、非常に重要にとらえていただきたいです。会員拡大会議はあくまで窓口であって、フォローしていく立場ですが、会員拡大はJ Cの基本運動でありますので、メンバーが全員一緒にやらなければならないことでもあります。是非、副理事長、専務理事ラインがあるわけですから、そのライングループ、委員会でメンバー一人ひとりお声をかけていただいて、しっかり一人でも多くの仲間を募るよう努力をしてください。毎年数字を伸ばしている宇都宮J Cなわけですから、一番多かったときは250名ちかくいたわけで、2008年は78名まで減ったわけですが、ここ数年メンバーの努力によって毎年大きくなってきています。数を増やすことがすべてではないですが、もちろん数が多ければ運動が広がります。宇都宮J Cメンバー一人ひとりが市民でありますので、そういう観点においても宇都宮J C、責任を持って理事のみなさまに引っ張っていただければと思います。

それから今日、だてJ Cの年間事業計画が出てきました。これは所信でも書かせていただきましたとおり、所信の表明の演説でさせていただいたときにはっきりと私もお話をさせていただきましたが、今年だてJ Cの被災地に心をよせて、あちらのメンバーと共に行動していこうという年であります。木村委員長と委員会のメンバーは20日にだての地で交流をもって事業のお手伝いをしてきたそうですが、これは決して人ごとではなくLOM一丸となって推進をしていく運動の一つと捉えていただき、ご協力をいただきたいと思っております。そして4月20日に栃木テレビの方へ出演させていただきました。J Cがどういうところであるのかをテレビをとおして市民の皆様へ発信をさせていただいたわけですが、これは豊崎委員長をはじめとする委員会には、今年のメディア戦略、ブランディングをしっかりと推進させていただきました。これはダイレクトに皆様に関係してくるとものだと思います。すべての委員会が関連してきます。皆様で作る事業、運動がメディアによって多くの市民の耳に届くことにより、運動がさらに広がりを持たせられるわけですので、私も理事長としてお役目を勤めさせていただきますので、これからも宇都宮J Cの運動をしっかりとアピールしていただきたいと思っております。

そして4月3日から、30名のメンバーと家族を含めると37名でハワイに行ってきました。ホノルルチャイニーズJ Cメンバーの皆様には十数年以来の公式訪問を快く受け入れていただきました。本当に多くの交流をいただきました。日本J Cに出向している赤松委員長をはじめとする相互理解確立委員会のメンバーに同行いただいて、相互理解プログラムを現地で行いまして、それぞれの価値観、感覚の違い、歴史文化の違い、それぞれの共感できる部分、価値観をみいだせたわけでもあります。木村委員長がまた7月に行く話もありますし、もしかしたらホノルルチャイニーズの理事長が宮まつりに来てくれるかもしれないという流れになっておりますので、しっかり交流を深めてJ Cならではの国際交流の機会を享受できればと思います。

それから、メンバーの伊澤くんが格闘技のチャンピオンなのですが、このあいだ東京で試合がありまして応援しに行ったのですが、残念ながら負けてしまいました。日本一になったメンバーがここのいるのは大変誇らしいなと思っております。皆様方もそれぞれ栃木県で一番であったり、日本で一番であったり、めざしていると思っておりますが、いろんなところで活躍しているメンバーがいるということ、是非知ってほしいなと思っております。

そして、一昨日、栃木ブロックのVMVセミナーがありました。高松副会長が中心に宇都宮メンバー出向者をリードしていただいておりますが、栃木ブロックの方でも事業が本格化して、VMVもJ C Iのトレーニングプログラムの一つの役割です。また5月には憲法の授業があります。これも同じ栃木ブロックが推進している、全国的に展開している運動であります。是非、我々一人ひとりが日本国の主権者として勉強して欲しいです。

そして、いよいよ28日に法令会計の例会があります。これもすべての委員会、事業に関

わってくることであります。廣田議長もしっかりと準備を進めていただいておりますが、公益法人という制度をいかにわかりやすく、そして面白くみんなの興味をひけるように準備をしていただいております。これを聞いたからこそ、これからのみなさんの事業に幅を広げることができるのだと思いますので、是非メンバーに声をかけていただいて、80%の計画が必ず達成できるように、そんな努力していただければと思います。

5月わんぱく相撲が近づいてまいりました、そして6月にはASPACが日本国内でおこなわれます。これからどんどんJCならではの運動が活発になってきます。はじめからいつていることですが、我々が宇都宮一の市民になろうというのが今年の立ち位置でありますので、色々な学びをえて、宇都宮一の市民を共にめざしていただきたいと思います。今日の理事会も積極的にご意見ご発言をいただければと思いますのでよろしく願いいたします。

## 1 1. 直前理事長挨拶

欠席

## 1 2. 役員報告

<新妻> 渉外委員会からですが、来月5月2日に栃木ブロックの授業で憲法タウンミーティングが白鷗大学で行われます。たくさんの参加を宜しく願いいたします。2点目ですが、日本JCの授業で国際アカデミー体験プログラムが5月11日に半田で行われます。1日で国際アカデミーを体験できますので、ご参加のほどよろしく願いいたします。最後にお願いがございしますが、関東地区ファームの懇親会費の会費4千円を徴収いたしますので、ご協力のほどよろしく願いいたします。

<相馬> 明日、4月24日にわんぱく相撲の全体説明会を19時からコンセーレ大ホールで行いますので、たくさんの参加のお声掛けをよろしく願います。

<橋本> クールビズについてご案内させていただきます、基本的には5月1日から9月30日までをクールビズ期間とさせていただきます。ワイシャツのボタンを開けるのは一つまで、また諸会議、監事講評、セレモニー、理事長挨拶、閉会などの時はジャケット着用でお願いいたします。

<小瀧> 今年度全国大会運営会議の方に出向しておりますが、25日から八戸へいきまして、全国大会運営会議の対話集会を行ってまいります。一緒に山田小幹事も来ていただけるのですが、LOMの授業と平行して出向の方も幹事をやっておりますので、残念ながら関東地区ファームには参加することができませんが、その分八戸の方で頑張ってお参りますのでその点ご理解いただきたいと思っております。

<木村> みなさんに配っているだてJCのスケジュールですが、我々、地域交流委員会は10月に向けて委員会を煮詰めています。これから宇都宮の地で合同委員会や、だての理事長やメンバーが宮まつりなどに参加していただけるということですので、その際はご協力のほどよろしく願います。8月23日に「伊達にこにこフェスタ」こちらがだてで肝いり事業となっており、ギネスに挑戦していくという流れとなっておりますので、そのときには人的支援のほどよろしく願います。

- <篠崎> 協働連携特別会議より、先月、相互理解確立セミナーに引き続き、5月31日にJCI3コースセミナーアチーブインパクトアドミン。こちらの方を開催させていただきます。場所は宇都宮市民プラザ多目的ホールで行います。詳細は後ほどメールリングさせていただきます。定員の方がごく少数となり先着順となりますのでよろしくお願いします。関東地区協議会事務局長として4月26日関東地区フォーラムが開催されます。最後の懇親会まで残っていただけると幸いです。
- <高松> 会員拡大会議でございます。5月も公開委員会を開催しようかと検討しておりますので、ビジターの方がいらっしゃいましたらよろしくお願いします。
- <中島(崇)> みなさまに配られてる「宇都宮の歴史」、作られたのは前市長の増山市長時代の1990年代ですが、ご好意により無償でいただいております。もし何か絡みがありましたら御礼を申し上げてもらえればと思いますのと、何よりもご一読いただきたいと思います。

### 13. 審議事項

#### 審-01 2月例会 市長を囲む会 開催報告並びに決算(案)承認の件

審議資料に基づき、中島委員長より上程文の読み上げ。

- <村上> 林常任事務局長補足ございますか。
- <林> 特段ございません。
- <村上> 廣田議長コメントお願いします。
- <廣田> 特段ございません。
- <村上> 飯沼委員長フォーマットは大丈夫ですか。
- <飯沼> 特段ございません。
- <村上> 山田副議長補足ございませんか。
- <山田> 特段ございません。
- <村上> 相田補足ございませんか。
- <相田> 特段ございません。

【採決】 全会一致 審議可決

#### 審-02 PR事業(広告媒体)計画並びに予算(案)承認の件

審議資料に基づき、豊崎委員長より上程文の読み上げ。

- <村上> 廣田議長補足ございますか。
- <廣田> 特段ございません。
- <村上> 飯沼委員長コメントをお願いします
- <飯沼> 特段ございません。臨時理事会と上程スケジュールに意見と対応の日時を修正と訂正をお願いします。
- <村上> 指摘された部分は修正してください。
- <鈴木> 審議対象資料の絵コンテの部分で、宮祭り、わんぱく相撲、ストリートダンス大会、と書いてありますが、正式名称で記載してはどうでしょうか。宮祭りに関しては、ふるさと宮祭りで商標をとっているのですからお願いします。わんぱく相撲も宇都宮で行うので、わんぱく相撲宇都宮場所、ストリートダンスコンテストでお願いできればと思います
- <豊崎> 修正致します
- <木村武> 審議の状態です映像だけでも入れていかないと、実際どんな映像で出てくるかわからないのでそのへんはどうにかなりませんか
- <村上> 前回の話で、映像の作成に入るとお金が発生してしまうので、絵コンテの状態です上程をして、審議が取れてから発注することになります。もちろん、映像を見ないとわからない部分がありますが、社会通念上の常識として見積もり予算を執行してからじゃないと正式に発注がかけられないのです。おすすめできないのかと思います。もちろんおっしゃることは理解いたしますので、みなさんに伝わるように説明しなければいけません。これはどんな形で映像が出来上がるか絵コンテでイメージの補足をしなければいけません。
- <村上> 今の絵コンテだと、映像をイメージしにくい部分があるので具体的に説明してください
- <豊崎> オープニングの部分で、飯沼委員長を起用します。内容は、仕事をしながらJCの活動をしているメンバーの日常についてです。なぜJCの活動に参加しているのか、自分の時間仕事お時間を削ってまでなぜ活動するのかについてこちらの方で話していきたいです。その撮影の中でインタビューをしながら市民の方にどういう考えのもとで活動しているかを伝えていく内容になっております。次に、オフィスワーク編がありますが、こちらは荻さんをお願いしております。こちらは女性バージョンとして内容的には同じになっております。因に飯沼委員長と荻さんの部分はすべて映像となります。続きまして、対談ですが、内容については、宇都宮市を元気にしていこうテーマで鈴木委員長、金常任、飯沼委員長、荻さん、林常任に撮影にご協力し

ていただく予定です。中身ですが、各例会の紹介を含めながら経験をもとにした対話形式で話の方ができ上がっています。最後にエンディングですが、JCにどのような人たちが所属しているのかについて、各職業別のプレートを持っていただきまして、いろんな職業のひとが所属しているというJCの紹介、メンバーの紹介をして、その人たちが地域を明るく元気にしているというスマイルリレーと名付けまして、その後に市民の笑顔というところで締めくくるといふ全体的な流れとなっております。対談の内容については別紙に書いてありますのでみていただければと思います。

<新妻> PR映像の使用と時間ですけど、2、3カ所置いていただいて多くの方にみていただければと思います。

<豊崎> 検討しまして活かしたいと思います。屋外会場、受付など、またパソコンなどの台数などを増やしていきたいと思います。

<篠原> 別紙の対談のところですが、宮まつりや今までやってきた講習などの流れで、震災復興で東北に行ったことについて記載されているのが、少し軽いように思います。もうちょっとLOMとして震災復興について真剣にかんがえているのであればこの流れで震災の炊き出しに行ったのというのはどうなのかと思いました。

<豊崎> こちらは、撮影予定キャストの方からも同じ意見がありまして、こちらは震災復興の文言を削除という判断をしております。今回の映像に入れの方針となっております。

<木村武> 震災の対談については、是非入れていただければと思います。理由としては8月や10月にだて青年会議所もいらっしゃいますし、実際に震災復興を行っていますので使用してはどうですか？

<豊崎> こちらの対談のパートですけど、事業・例会の紹介を含めて私たちの例会に参加して町を元気にしていこう活性化に向けた目的として、撮影することになります。その中で 災害復興という事例を入れてしまいますと、ズレてしまうのではないかと思います外したわけでありまして。

<飯沼> 意見ですけど、対談が3分しかない中で、宇都宮JCがどういうことがやっているのか伝えるために、青少年育成という事業や宮まつりや町づくりについて映像を使用し市民にいかに知ってもらうのが一番の目的だと思います。それをたった3分の中の対談映像で伝えたときに、一言二言しか入れられないとなると軽く聞こえてしまうのではないのでしょうか。

<木村武> 映像等は難しいと思いますが、できれば継続的支援についてはポイントとしてでも入れていただきたいです。

<村上> 今までの流れでいくと、青少年育成事業だけがJCではないわけで、わんぱく相撲もストリートダンスが入っていて、青少年育成事業のことを訴えるのであればいいという意見もありますが、最終的にどういう方向に持っていくつもりですか？

<豊崎> こちら映像製作会社との話になると思いますが、インタビューの中で盛り込

めるかどうか確認させていただきます。

<橋本> 今後の撮影スケジュールの中で、実際に撮影するときどのような撮影ができて上がるか、実際にやってみて、きちっとした映像全体の撮影をしながら対応しながら進めていきたいと思えます。

<村上> 入れるか、入れないかをはっきりさせてください。

<中島(崇)> 必ず入れます

<村上> 災害復興はLOMとして大切に取組んでいるところでありますので、決して軽くなれないようにしてください。

<太城> 最終段階は我々理事で確認して、駄目であれば修正はきくのでしょうか？

<豊崎> 5月中であれば、修正可能であります。

<村上> 予算を執行して映像が作られた後に理事ミーティングやYOUTUBEなどで配信して理事に確認してほしいと思えます。

**【採決】** 全会一致 審議可決

#### 14. 協議事項

協-01 6月例会 第64回ASPAC山形大会発信計画並びに予算(案)について

審議資料に基づき、豊崎委員長より上程文の読み上げ。

<中島(崇)> 補足ですが、ASPACは登録料がかかります。今年度は2万8千円になります。こちらに関しては通常の全国大会や諸大会と同じ考え方です。参加していただく方は登録料のお支払いを了承したくお願い申し上げます。

<渡邊> アンケートとクイズの中身ですが、本例会についてお聞かせくださいと書いてあるのですが、できたら削除していただけるよう検討のほどよろしくお願ひします。

<豊崎> こちらの方も一度精査し、対応させていただきます。

<太城> 事業目的ですが、参加意欲を高めてもらうことが目的だと思いますが、ASPACをする目的はなんでしょうか。

<豊崎> こちら参加を目的とさせておりますが、まず参加をしないとわからないところがあると思えます。世界会議JCIの設えというのを直にみる、体験するというところで自己啓発につながるのではないかとと思えます。

<太城> それであればそのまま書けばいいのではないかとと思えます。

- <高松> 多分忘れていただけかと思いますが、ビジターもお願いします。
- <羽石> 実際に行った方の感想を例会で話していただいたり、ASPA Cの様子を撮影し、例会で映像を流したりするのはいかがでしょうか。
- <豊崎> 参加できなかったメンバーに伝えられるものとして盛り込みたいと思います。
- <太城> ASPA Cに行って撮影し、例会に映像を流すとなると、審議可決後の撮影となると例会ルール上難しいのではないのでしょうか。
- <村上> やらぬいいわけをはじめからしている印象があります。始めから会議に行かないイメージになっています。全体としてはできれば行って何かをASPA Cで体感できる設えをしてほしいなと思いますし、もちろんいろんな事情で行けないメンバーがいると思いますので、何かできるか仕掛けは必要かと思います。しっかり前向きに捉えて、来月までまだ時間がありますのでしっかり取り組んでいただきたいです。

#### 協一〇二 6月事業 全国大会関連事業 開催計画並びに予算（案）について

審議資料に基づき、山田副議長より上程文の読み上げ。

- <中島(崇)> フォーマットのところで、事業要項2の対象者についてビジターなどと記載されていますが、他の方がいなければなどは削除願います。続きまして、意見と対応のところですが、告知議案の意見と開催計画議案の意見が混同していますのでわけてください。続きましてプレスリリースの事務局の開局時間が間違っていますので修正してください。メンバーへの案内年度が違います。スペースを入れる部分が違います。ポスターの日にちが入っていますが、時間が掲載されていません。セレモニータイムスケジュール資料のタイト名が異なっているので統一してください。備品リストの数量等をチェックしてください。役割分担詳細表について、この時間にここまでしてくださいという部分まで時系列に記載してください。
- <渡邊> 会場のみとり図について思ったのですが、飲食ブースが神社の鳥居に向かって左下にありますが、片付けの際の動線はどのようになっているのでしょうか。水道が右上にあったと記憶していますので、ビックテントと重なってしまうのではないかと思います。
- <山田> この図面を落とし込む際に水道や電気の位置まで具体的に落とし込んでいませんでしたので、ただいまの意見を踏まえまして再度図面に関して修正したいと思います。
- <鈴木> ラバンバという意味について教えてください。
- <山田> ラバンバですが、バンバというのはバンバ広場ですが、ラという言葉をつけたのは言葉の響きで南米の明るい前向きイメージを醸し出たく、ラバンバという前向きな名前をいたしました。この事業はあくまで市民にたくさんきてもらいたくて宇都宮の文化や技術を発信したく、ラバンバという前向きな明るい何



となく来てみたいなど、そんな雰囲気をもってこのネーミングにしました。

<鈴木> ポスターと事業目的等に対して、未来を見据え将来へつなげるという文章に対し、こんなのが「えっ、これが宇都宮なの」と書いてあると思いますが、これは出店ブースのどの部分ですか。たとえば宇都宮ブリッツェンは違うと思えますし、宇都宮で多数出店している協力団体はこの中に入っていると思いますが、もしやるのであれば今まで出たことのないこれから売り出していく部分のブースをより多く出してあげたらどうでしょうか。

<山田> ただいまご指示ありました点ですが、「えっ、これが宇都宮なの」と思ったのは宇都宮の百人一種のブースですが、百人一首というは宇都宮にも深い縁があります。宇都宮頼綱氏が藤原氏に依頼をして始まったのが小倉百人でありますので、そういった宇都宮のゆかりのありますのが百人一首ですよと、皆さんに普段目についていない百人一首というブースと、またスポーツ関連ブースというところでボルダリングの設置、フリークライミングはあまりにも一般かもしれないですが、24歳の安間佐千さんという方が2年連続ワールドカップで優勝おまして、宇都宮愉快市民にも選ばれております。そういったところもございまして、フリークライミング、ボルダリングなどは「えっ、これが宇都宮なの」というこれから発信していけるコンテンツの一つとして入っております。まだ来月までありますので出店ブースに関しては再度検討させていただきます。

<横島> ブースの収益を出さないようにして公益とするために、チャリティ募金の管理はどうするのでしょうか。

<山田> 出店時に依頼する出店依頼書に、基本的にはチャリティに準ずるもので、出た利益に関してはユニセフの募金箱に入れてもらうということで対応させていただきますが、もう一度相談してみます。

<安野> 3つほど質問させていただきます。1つ目は、この事業は全国大会招致とどう関連するのか。2つ目は、どういう手で機運を高めたいのか。もう一つは、未来へ何を伝えたいのか。

<山田> 1つ目は、この事業がどう全国大会結びつくのかという点ですが、全国大会の本大会中、期間中おきましては、必ずLOMにおいて記念事業をみすえた事業があります。そういった事業を設定した際に、市民を巻き込んで宇都宮を発信していくというイベントをまずやるというのが、一つ全国大会をみすえた手段ではないかと思えます。またどのようにして機運を高めるか、判断するのですかという問いですが、理事長所信の中にも確か背景の中に入れていただいております。この地域の事実に対して無関心になってきているとう文面が理事長所信にあったかと思えますが、そこから引用させていただきました。第三者的な統計を用いてどのように機運が下がっているのかを知る方法については添付しておりません。この例会をとおしてどんな地域の宝があるのかというのを、少しでも市民の方が来たときに持ち帰ってもらえるようにと考えています。また未来へ何を伝えていくのかというところでございますが、この事業をつうじてどういったものが宇都宮の誇れる産業であるのか、文化であるのか、そういったところを参加型のイベントをとおし発信させていくだけです。たとえば火炎太鼓の山車復活展示とありますが、1914年まで宇都宮の伝統として出店されていたわけですが、昭和20年の大空襲によって消失されました。一部

を宇都宮市が保管していたということで、近年に歴代理事長であります檜山理事長のお父様が会長となられて発起され、この山車を復活させようという機運が高まってきまして、そういった過去からの歴史というものからも、こういうものがあつたのだというのを子どもたちが感じていただければ、それを次代の宇都宮のために語り繋いでもらえるのではないかと思います。

- <安野> 検証する部分で、そういう部分も盛り込んでいただければと思います。
- <宮林> 事業の背景のところには市民の地域に対する帰属意識という言葉がありまして、事業目的のところでは地域社会の一員としての市民意識とあるのですが、これは同じ意味でしょうか。
- <山田> ほぼ同義語です。
- <宮林> その市民意識とブースとのつながりみたいなものを、この市民意識を持ってもらう目的と今回やるブースとのつながりみたいなものを教えてください。
- <山田> 何を持って市民意識とするかというところが難しいですが、たとえばこの地域が誇れる歴史を知ったり、文化を知ったり、たとえば大谷石、餃子、栃木S C、ブリッツェンなど、まだまだ一般の知らない人もいますので、そういうところを発信していけばそれが市民意識に結びつくのではないのでしょうか。
- <太城> 会場設営予算の会場設営費をもっとつめられるのではないかと思います。
- <須山> 機運を高めていくところを目的としていますが、くれば宇都宮の魅力を体験できるとは思いますが、ただそれで終わってしまう気がします。これを全国大会にからめるのであれば、それをいかに宇都宮J Cが発信しているところにつなげられるかを一考いただければと思います。
- <安野> 意見と対応で、時期的に大雨もあると思いますので、雨対策についてももう少し盛り込んだほうが良いと思います。どうでしょうか。
- <山田> 雨対策ですが、ビックテントの中にステージを設置して、残りのスペースに椅子を置いて雨が降ってもみられるようにしてあります。それ以外の雨対策はございませんので、かっぱを着てもらってみたいということのように考えております。
- <安野> 雨天中止は考えていませんか。
- <山田> 委員会で協議していませんので持ち帰らせていただきます。
- <村上> 私が話したことが入っていません。雨の件、梅雨の時期ですから考えてほしいです。イベントとして広がりがないとJ Cとして運動になっていきません。全国大会の関連事業だと思いますが、なんで全国大会をやるのかということと、この事業で市民に対してインパクトを残し、市民の意識を変えられないのであれば、もうふた工夫してもらいたいです。当日オリオンスクエアでジャズイベントがあります。なので、これは似たような趣旨な部分があります。他団体と連携ができないかと模索してはどうでしょうか。いろんな目的を突き詰めていただければと思います。

協-03 6月事業 全国大会関連事業 告知計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、山田副議長より上程文の読み上げ。

- <中島(崇)> 予算がかかっていないのですが、コピー代、郵送費はかからないのでしょうか。それから実施日時は随時となっていますが、何日から計画されているか記載してください。各種書類についてですが、すべてに(案)と書かれていますが、そちらはすべて削除してください。講演依頼書は開催時間が違います。それから協力依頼承諾書や出店申込書名称に関しては、一般的な書類と同じように訂正をお願いいたします。
- <相馬> 私も告知議案で、何を告知したいのか明確にした方がよいと思います。
- <村上> 臨時理事会が必要であればやりますが、すごく適当な感じがします。本当に告知を先にしたいのであれば、審議がとおれるくらいの議案を作るぐらい、真摯な態度があつてこそ理事が集まってくれると思いますが、その点は真摯に受けとめなくてははいけません。

協-04 9月例会 第4回宇都宮ストリートダンス選手権 開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、岡田副委員長より上程文の読み上げ。

- <中島(崇)> まず、不確定要素部分については協議しません。対外目的と対内目的についてですが文言について精査をお願いします。続きまして、事前説明会の件も確定させてください。詳細のタイムスケジュールについて一枚にまとめてください。サブ会場の設営説明の添付資料がついていませんで検討してください。それから、緊急時連絡系統は綿密に計画してください。報告者が理事長になっていますが、理事長は審査委員なので内容をもう一度計画し直してください。ダンス大会および宇都宮イベント表が異なっていますので修正してください。最後にロードマップを作成について添付してあるのですが、ざっくりし過ぎています。参加人数や目的値などの数的根拠がないので、そういった面も含めてある程度ビジョンを精査してください。
- <木村> サブ会場を初心者部門にしていますが、どうしてもメイン会場に人数が偏ってしまうと思います。観客が来てもらうよう何か設えを考えていますか。
- <岡田> 今のところ初心者部門は人数が150人入れる部屋になっていますのでなっています。部屋は6階になっていて、基本的に人が行き来するのが容易ではないですので、初心者部門の引率者や親子がメインになります。場所も設えに関しては特別何か用意してあるわけではないですが、特別賞などの設えを考えています。
- <木村> まだ時間があると思うので、何か少しでも引率者意外でも呼んでいただけるよう考えていただければと思います。

- <山田> 駐車場についてですが、目標としているのが40チームにつき1台として考えていますが、もう少し台数を増やした方がいいと思います。小学生と中学生でわけるとと思いますが、チームによっては小学性と中学生の混合チームがあると思いますがその点はどのように対応するのでしょうか。
- <岡田> クラブチームやダンスチームにかよってお話を聞いてきましたが、実際混合チームがあるみたいですが、それとは別に年齢別でわけることができると思いましたのでそのようにいたしました。
- <山田> ゲストですが、プリマドンナさんがオールジャパンスーパーキッズの関東予選の優勝者ということですが、まだ時間があるので、もう一度レベルの高いチームを探してみてもはどうでしょうか。
- <青木> 審査方法の基準で、同点の場合はパッション点が高かった方と書いてありますが、パッションというのはどういうことをいうのでしょうか。
- <岡田> 審査表を設けた理由は点数評価を付けられるものがこれまでなかったので取り入れまして。また、数あるダンスコンテストを調べまして何項目もあることも情報をえまして導入しました。その中でパッションについても、最後の表現力や、見た目につながっていくのかと思ひまして最後の一文として入れさせていただきました。
- <豊崎> 司会者が3候補者まであがっているということですが、委員会としては第一候補で確定しているということでもよろしいですか。
- <岡田> 今回は委員会メンバーでキッズダンサーに携わるケンサクさんが適任かと思ひ、第一候補者として選ばせていただきました。
- <豊崎> ケンサクさんは、キッズダンサーにも好評で、知名度的にも非常に高いのかと思ひました。また子どもたちに人気なのは動員にも結びつくのではないかと思ひました。
- <鈴木> ストリートダンスをつうじて何を伝えたいのでしょうか。
- <岡田> 実際事業するにあたっては、気持ちというのは青少年育成が最終目的ではありませんが、子どもたちの表現をする場を私たちがつくってあげて、それを活かせる場をつくってあげたところで一般の市民の人たちに、こういう場があると周知できればそれが成功に繋がるのではないかと思ひます。
- <鈴木> お互いのよさを認め合ったりするのは入っていますか。
- <岡田> もちろん入っております。
- <鈴木> そうするとサブ会場の意味がわかりません。会場が二つにわかれてしまうと、お互いのよさや楽しさをどのように伝えていくのでしょうか。
- <岡田> そちらに関しては設えの部分が若干煮詰まっていますので、持ち帰らせていただきます。

- <鈴木> 現段階ではサブ会場というのは予定となるのですか。
- <岡田> 予定というよりは、会場を増やしてダンスをする場を創出できればと思います。
- <中島(晴)> メイン会場とサブ会場をわけた意図はちゃんとあれば伝えてください。
- <岡田> ダンスチームが去年と比べると、申し込みが多くなっています。そのことを考えまして参加チームを増やしたいということを考えました。そうすると、参加チームを一つの会場で行うとなるとタイムスケジュールなどが非常に厳しいため、同時進行で会場を増やすことで数多くのキッズたちにダンスをしてもらえと思い会場を二つにしました。
- <鈴木> それであるならば、二日開催というのも考えなかったのですか。
- <岡田> 考えておりませんでした。
- <鈴木> 去年をみてわかると思いますが、会場の一体感というのは絶対になくはなりません、会場をわけることでマイナス面が大きいのではないのでしょうか。意見です。
- <篠原> ゲストのことですが、毎回ちびっ子ダンサーじゃなく、別に目を向けるのはどうでしょうか。
- <岡田> 目的としては青少年育成というものを考えております。ダンスをやる子どもたちがダンスの上手い子たちをみて、さらに自分たちのダンスに磨きをかけていただきたいなという発想から選びました。
- <篠原> 目的のところでは青少年育成の重要性を再確認するためと書いてありますが、大人が再確認しなくて、子どもが再確認できますか。それであれば大人を多く呼び込む必要もあるのではないのでしょうか。そこで意見ですが、だてJCさんの紹介でフラガールを呼んで復興に絡ませたり、他の発想には結びつかなかったのでしょうか。
- <中島(崇)> 軸が定まっていないと思います。こういう考えのもとで、企画や事業内容につなげてきたという、中身のところをもう少し構築していただいて、みなおしてください。
- <村上> 沢山資料をつくっていただいて準備してもらったのですが、まだ細かいところまで詰めきれてないのかなと思います。ただ、非常によい意見をいただいたと思いますので、この事業をどういうふうにするのか、ロードマップを描いていただきたいです。また豊崎委員長と委員長同士連携しあい、テレビと生中継をしたり、いろんな委員長と相談し合いながら、よりスケールの大きなものに育ててください。

協議資料に基づき、岡田副委員長より上程文の読み上げ。

- <中島(崇)> 募集要項は一番大事ですから、メインとサブの会場で何をやるのかを書いてください。
- <船見> ポスター、チラシ配布予定一覧なのですが、地元の大学生なんかにも周知して見学をしてもらうのも手法の一つじゃないかと思います。それと、オリオン通りの商店街として、何か告知の広告を構築できるのではないのでしょうか。ちょっとしたご協力をいただければいいのではないのでしょうか。意見です。
- <中島(崇)> 参考資料の5番が消えていますので、修正してください。
- <鈴木> 募集要項の欄に説明会の日にちを記載することは可能ですか。
- <中島(崇)> 事前説明会として書いてあります。
- <村上> 告知に関しては豊崎委員長と連携して効果的にやってください。それと一点だけ、本体議案の背景のところで、趣意書にも書いてある文言が、理事長所信と同じなのですが、文言の書き方を変えると所信と違ってしまうので、もう一度読んでみなおしてください。

#### 報-01 メディア掲載報告について

- <豊崎> 4月2日栃木テレビにおきまして、理事長がご出演されたことをご報告いたします。4月5日、リビングマロニエにて5月わんぱく相撲宇都宮場所の告知広告が掲載されました。4月18日に下野新聞まちなか支局におきまして、わんぱく相撲宇都宮場所の告知記事が掲載されたことをご報告いたします。こちらのまちなか支局の記事におきましてはご好意により、わんぱく相撲開催前日に事前記事を載せていただけるはこびとなります。また事業報告として、まちなか支局から議案書どおり報告記事として掲載させていただくようになっております。

#### 報-02 対外出向者について

- <中島(崇)> 追加で出向が決まった方で、日本J.Cの地区推薦で渋江恵一朗君、栃木ブロック協議会へ渉外委員の佐藤義晴さんと林常任です。

#### 報-03 年間公式スケジュールについて

- <中島(崇)> ご一読ください。

#### 報-04 2014年度カレンダーについて

- <中島(崇)> ご一読ください。

#### 報-05 会費納入状況について

<宮林> 年間費の納入状況は、一覧の記載どおりになります。委員長のみなさまにはお声掛けのほどよろしく申し上げます。

#### 報-06 特別会員入金状況について

<中島(崇)> ご一読ください。

#### 報-07 ビジター報告

<太城> 4月に新入会員を一人も出せなかったのは大変申しわけありません。紙資料を配布させていただきましたが、ビジター比較ですが1月に10人、2月に7人、3月に28人と書いてありますが、4月の6名のビジター出欠状況ですが、アジェンダと少し違いますが非常に厳しいです。今年の卒業者は23名です。来年は22名、その次は14名、合計約70名近くが3年で卒業してしまいます。皆様、事業計画を出したと思いますが、そこに何と書いてあるでしょうか。会員拡大をすると書いてあります。理事長が挨拶の時にフォローをしていただきましたが、わたしたちも非常に痛感しております。今週の月曜もわたしたちは危機的状況ということで、アポなし営業をしてきました。わたしたちは窓口ですからもちろん本気ですが、皆さんは本気で拡大する気はありますか。事業計画に書いた以上にマストな項目だと思わないと非常に困ります。今後わたしたちはいかなる手段を持っても拡大につなげていきたいと思えます。みなさん理事の方が大声をあげてメンバーに拡大とっていただかなければ、我々委員会がどんなに叫んでも伝わるわけがありません。委員会を開くのであれば、そこでこの議題を取り上げていただくとか、必要であれば伺いますし、もし紹介者がいれば時間を作りますので、是非声をかけてください。あと3年で70名が卒業します。今の約半分です。それで全国大会をやるといえますか。意識のある委員会は、我々にどれぐらい呼べますかと聞いてきます。意識の甘さが、最近の理事会で感じる場所ではありますが、拡大委員会を呼び出しても構いませんので、一人でも多く拡大につなげられるようお願いいたします。皆さんの協力がなくては、拡大できませんので、よろしく申し上げます。また、次の例会前には各委員長にビジターを何人連れてきてくれるのかを直接連絡させていただきます。是非本気で呼んできていただきたいと思えます。もう空見積もりはいりません。本気の勝負見積もりということで連れてきてください。

#### 報-08 ビジター名簿

<中島(崇)> ご一読ください。

#### 報-09 次回開催について 5月28日(水) 19:00～ コンセーレ

## 16. 監事講評

<黒川>

まずは総務委員会の皆様、本日も早い時間からの理事会の設営ありがとうございます。本日、理事会を拝見させていただきました。審議案件、協議案件、どこか準備が足りないのかなと思いました。上程している姿をみてもどこか自信がなく、姿勢も悪く、みていてかっこ悪いなと感じました。そんな姿を委員会メンバーはみているのだと思います。是非とも理事会に出ている理事のメンバーは背中に委員会メンバーがいるということを感じながら、この理事会に臨んでいただきたいと思います。また来月から公益事業も始まります。多くの市民の方と触れる機会が多くなると思います。是非言動、行動に気をつけていただきたい。やっぱり常日ごろからの仕事や生活にも、宇都宮JC理事会構成メンバーという意識を持って生活していただきたいなと思います。やはり普段からそういうことを意識することで、言動や行動にも繋がると思っておりますので、日ごろから意識をしていただければと思います。

最後になりますが、太城議長より拡大の話がありました。是非来週の例会にはビジター対象の人がいると思いますので、是非声をかけてビジターを連れてきていただきたいと思います。廣田議長はじめとする法令会計審査会議の皆様、来週の例会に向けて準備をしていると思います。是非、今一度お声掛けをしていただいて、80%を超えるような例会をしていただきたくお願いをして、私からの幹事講評とさせていただきます。

## 17. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2014年度 第4回 理事会議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成：総務委員会

議事録署名人：村 上 正 高  
黒 川 崇  
澤 畑 敦 史